太子町議会だより
No. 220
令和8年10月26日発行

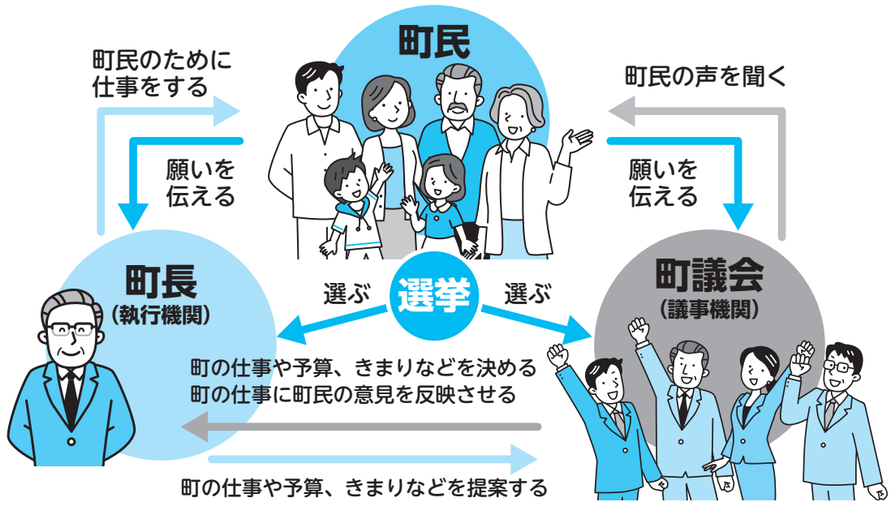
和のまち



太子町議会だより　No.220　令和８年10月26日号

議会と議員の役割を知ろう！

町民・町議会・町長の関係



一人ひとりの議員が住民代表としての自覚を持って活動しています！

住民のみなさんの声を行政に届けるために・・・

・住民のみなさんから寄せられる「困りごと」や「まちの課題」の解決にむけた相談に応じています。
　また、これらのことについて、意見を聴取することも議員のしごとです。
・このような住民のみなさんの声が、議会・議員からの政策提言に結びついたり、一般質問等によって町長を質すような活動につながったりします。

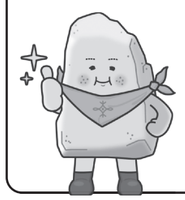
- 太子町議会議員選挙が、令和９年４月に行われます。
- 新しい議会では議員定数は15名から13名に、議員報酬は27万１千円から32万円に改定されます。

　議員のなり手不足が全国的な課題となり、次代の担い手が求められています。しかしながら「議員は何をしているの？」と思われている方が多いのではないでしょうか。
　今回の特集では、町の意思決定を担う議会と議員の役割について、要点を整理してお伝えします。そして、より多くの方々が議会に参画されることを私たちは期待しています。



Q　まちのリーダーとして町長がいるのに、どうして議会が必要なのかな？

A



　町長と町議会の役割は、法律で定められていて、まちの仕事を町長だけで決めることはできません。町長と議会が話し合って決める仕組みになっています。
　町長と町議会議員は、どちらも住民から直接選挙で選ばれた「代表」です。この２つの独立した機関が、お互いに対等な立場で地方自治を進めます。

議会は地域の重要なことを決める機関です

　町の仕事は、予算や条例に基づいて行われます。
　町長は、予算案や条例案を提案しますが、これらを最終的に決定するのは議会です。また、予算がきちんと使われているかチェックしたり、新しい政策・条例を提案するのも議会の役割です。

参考　全国町村議会議長会

主な審議結果を解説



9月定例会

令和８年９月定例会は８月26日に開会し、30日間行いました。
提出された25件の議案などを慎重に審議しました。
主な審議結果を解説します。

教育委員会委員の任命

全員賛成により同意

現委員である福田秀樹氏（竹広）の任期満了に伴い、川村隆弘氏（竹広）を教育委員会の委員に任命したい旨の説明があり、全員賛成により同意されました。

任期は、令和８年10月１日から令和12年９月30日までの４年間。

国に対し働く者の声を尊重した労働時間法制の実現とＩＬＯ三者構成原則の堅持を求める意見書の提出を求める請願

全員賛成により採択

国に意見書を提出

労働者の命と健康、そして権利を守る観点から、「働き方改革」の定着・推進に向けた実効性のある法規制を実現すること、長時間労働につながりかねない規制緩和は行うべきではないこと、労働基準監督署における厳格な指導・監督は維持すべきこと、労働政策決定におけるＩＬＯ三者構成原則を堅持することを求める内容。

総務経済建設常任委員会での付託審査を経て全員賛成により採択。閉会後、国に対する意見書を提出した。

請願

功労者につき承認

全員賛成により承認

太子町まちづくり審議会の答申に基づき、各功労賞の表彰を行いたい旨の説明があり、全員賛成により承認されました。

社会功労賞　小林 榮（竹広）
社会功労賞　八木 治道（蓮常寺）
社会功労賞　森川 緑（上太田）
社会功労賞　冨田 昌子（蓮常寺）
社会功労賞　上森 咲子（太子苑）
社会功労賞　玉田 晶久（松田）
社会功労賞　科野 新一（常全）
社会功労賞　横山 郁子（阿曽）
社会功労賞　橋本 恭子（丹生）
社会功労賞　中村 薫（田中）
※令和８年１月11日にご逝去されました。
産業功労賞　髙井 國昭（間野）
産業功労賞　森田 孝一（中出）
※令和８年７月18日にご逝去されました。
教育功労賞　室井 美千博（馬場）
スポーツ功労賞　山本 久美子（松尾）
スポーツ功労賞　西村 博行（阿曽）

令和7年度各会計の決算状況

会計名			歳入総額（収入）	歳出総額（支出）	差引残額
一般会計			149億9,029万円	146億4,712万円	3億4,316万円
特別会計	国民健康保険		30億6,369万円	30億5,091万円	1,278万円
	介護保険		28億5,841万円	28億239万円	5,602万円
	後期高齢者医療		6億8,790万円	6億7,263万円	1,526万円
	墓園事業		1,259万円	1,244万円	14万円
企業会計	水道事業	収益的収支	6億3,801万円	5億2,271万円	8,578万円
		資本的収支	0	1億1,799万円	△1億1,799万円
	下水道事業	収益的収支	14億4,778万円	12億2,531万円	1億8,123万円
		資本的収支	8億1,893万円	13億2,142万円	△5億249万円

※資本的収支の不足額については、「当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額」および「過年度分損益勘定留保資金」で補てん。

議員のしごと



太子町議会では、次のような活動をしています。

本会議

条例・予算などの議案を審議し、議決します。
年４回の定例会と必要に応じて臨時会が開かれます。
町政に関する一般質問も本会議で行います。



委員会

◆常任委員会
- 福祉文教常任委員会（７名　毎月第２水曜日）
- 総務経済建設常任委員会（７名　毎月第２木曜日）

議長を除く議員は、必ずどちらかの委員会に所属することになっています。所管する分野について、議案をより詳細に審査する（付託案件審査）ほか、町の課題についての調査・研究も行っています。

◆議会運営委員会（６名　毎月20日）

議会を円滑かつ効率的に進めるために、議会運営全般にわたる事項について審議します。

◆特別委員会
- 広報広聴委員会（６名　定例会終了後　３回以上）
- 議会改革特別委員会（全議員　毎月27日）
- 議会ICT化特別委員会（全議員　毎月27日）
- 予算委員会（全議員　３月定例会）
- 決算委員会（全議員　９月定例会）

全員協議会

（毎月27日）

全員協議会は全議員で構成され、太子町議会議員相互の意思の疎通を図り、議会及び町政等の問題について協議を行う場です。

その他

- 住民意見交換会（カフェトーク）の開催
- 議会だよりの発行
- 各種研修に参加
- 視察受け入れの対応
- 公的行事に出席　など

議員について、もっとおしえて!!

Q：仕事をしている人でも議員になれますか？

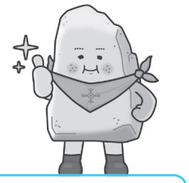
A：なれますが、**議会活動が最優先**です。
議会は本会議だけでなく、委員会、打ち合わせ、地域行事への参加などもあり、議会活動のために仕事を休んだり時間調整が必要になります。



Q：議員は議会活動がないときは何をしているの？

A：議員の活動は、本会議や委員会などの会議に出席するだけではありません。
町長から提案された議案などの精読や調査、町民から受けたさまざまな相談への対応、他市町の議員との情報交換や勉強会、政策課題の解決に向けた調査研究を行っています。

町の家計を健康診断　4つの数字でチェック！



ぼうじぃ解説

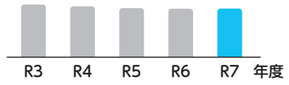


ローンにあたる借金の割合は、この5年でぐんと下がったよ。家計のゆとりも、去年より少し戻ったんだ。自分で稼ぐ力はゆるやかに下がっているけど、これは、国や県の補助金などをしっかりと活用している表れでもあるんだよ。これからも町の家計を健康に保てるように、議会がしっかりチェックしていくよ。

1 財政力指数
＝自分で稼ぐ力

ゆるやかに低下

0.613
前年度0.618

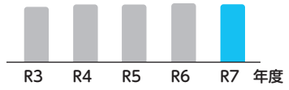


「1」に近いほど、町の税収で暮らしを支える力がある

2 経常収支比率
＝家計のゆとり度

1.4ポイント改善

90.4%
前年度91.8%

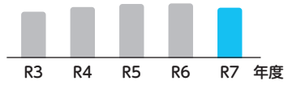


数字が低いほど、新しいことに使えるゆとりがある。
ちなみに、全国平均は、93.3%です。

3 実質公債費比率
＝ローン返済の負担

0.9ポイント改善

10.5%
前年度11 .4%

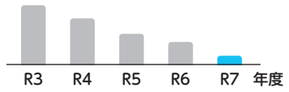


借金返済の割合。18%以上になると、要注意です。

4 将来負担比率
＝これから返すローンの割合

大きく改善

4.8%
前年度14.2%



５年前は40.2%。借金がしっかり減っています

※2の全国平均は、総務省「令和７年度市町村普通会計決算の概要（速報）」による市町村の平均です。
※3の基準：18%以上で起債許可団体（新たな借金に県の許可が必要）、25%以上で早期健全化団体、35%以上で財政再生団体になります。太子町は、この基準を超えないよう、借りるお金と返すお金のバランスを見ながら、計画的にやりくりしています。

町の借金（起債残高）
100億306万円
３年連続で減少。ただ、減るペースはゆっくりに

自主財源の割合
38.8%
町税や使用料など、町が自分で集めるお金の割合。残りの約６割は、国や県からのお金と借入れでまかなっています。

令和７年度 決算徹底検証

ぼうじぃと一緒に見ていこう！

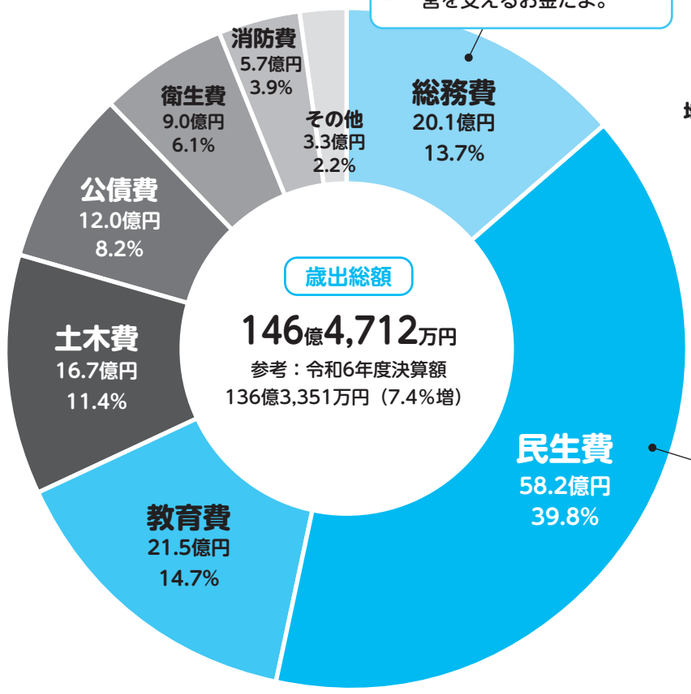
９月定例会では、一般会計決算委員会を開催し、３日間にわたり慎重に令和7年度決算を審査しました。
一般会計決算の実質収支は**２億8,485万円の黒字**となり、各会計の決算とともに認定しました。

歳出　何に使ったか？

ぼうじぃ解説



総務費は、役場全体の事務や管理、企画など、町の運営を支えるお金だよ。



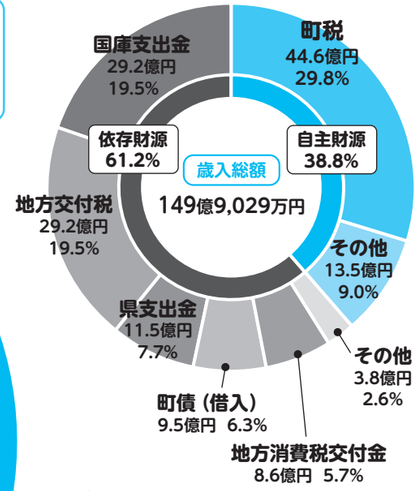
ぼうじぃ解説

民生費は、医療・介護・福祉・子育てなどに使うお金。
歳出のおよそ４割だよ。



町が1年間に使ったお金は
町民1人あたり約44万円
歳出総額 ÷ 人口33,227人
（R８.３末時点）

歳入　どこから入ったか？



令和7年度の注目事業をチェック！

学びと暮らしを支える事業　身近な３つの事業

水道基本料金の減免

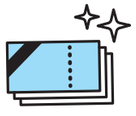


決算額
5,879万円

料金減免

成果・効果
物価高対策として、7～9月は基本料金の一部、2～3月は基本料金を減免しました。

敬老お祝いチケットの配付



決算額
1,804万円

新規事業

成果・効果
対象の5,426人に、登録店舗と町指定のタクシーで使えるチケットを配付。利用率は94.6%。

学校ICT環境の充実



決算額
2億4,976万円

更新完了

成果・効果
小中学校の学習用端末3,329台を更新。4校の体育館にWi-Fiも整備。

施設を整えた事業　建物や設備を新しくした3つの事業

学校のトイレ改修

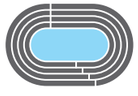


工事費
7,810万円

洋式化

成果・効果
太子西中学校の北校舎とプール棟を改修。小中学校6校の洋式化率は82.8%に。

陸上競技場 4種公認の更新



工事費
2億2,286万円

公認取得

成果・効果
トラックを全面改修し、令和８年３月に公認を取得（5年間有効）。トイレと音響設備も更新。

保健福祉会館の大規模改修



決算額
4億5,287万円

工事完了

成果・効果
令和８年２月に工事完了。石海公民館とシルバー人材センターが入り、エレベーターや空調も一新。

令和8年9月 定例会議決結果

総務…総務経済建設常任委員会に付託された案件
福祉…福祉文教常任委員会に付託された案件
決算…一般会計決算委員会に付託された案件

全員賛成で可決・同意・承認・認定した議案等

議案名		
令和８年度補正予算	令和８年度一般会計補正予算（第３号）	
	令和８年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	
	令和８年度介護保険特別会計補正予算（第２号）	
	令和８年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	
	令和８年度水道事業会計補正予算（第１号）	
	令和８年度下水道事業会計補正予算（第１号）	
契約	備品購入契約の締結について（パソコン等）	
条例	太子町認可地縁団体印鑑条例（一部改正）	
	太子町税条例（一部改正）	総務
	太子町廃棄物の処理及び清掃に関する条例（一部改正）	
承認	功労者等の承認	
同意	教育委員会の委員の任命につき同意を求めること	
請願	働く者の声を尊重した労働時間法制の実現とILO三者構成原則の堅持を求める意見書採択の請願	総務
意見書案	働く者の声を尊重した労働時間法制の実現とILO三者構成原則の堅持を求める意見書	
令和７年度決算	墓園事業特別会計歳入歳出決算の認定	福祉
発議	太子町議会委員会条例（一部改正）	

賛否の分かれた議案等

議案賛成者は「○」、反対者は「×」とします。
議長は「－」、議長に表決権はありません。

議案名		賛成	反対	結果	付託	議員別賛否一覧 吉田 智子	山本 順久	玉田 晶久	桑名 幸夫	出原 賢治	森田 哲夫	玉田 正典	中薮 清志	堀 卓史	藤澤元之介	首藤 佳隆	中島 貞次	松浦 崇志	清原 良典
令和7年度決算	一般会計歳入歳出決算の認定	12	1	原案認定	決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	12	1	原案認定	福祉	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	12	1	原案認定	福祉	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	12	1	原案認定	福祉	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	水道事業会計決算の認定	12	1	原案認定	総務	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	下水道事業会計決算の認定	12	1	原案認定	総務	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

ザ・討論

定例会最終日（討論含む）

令和7年度水道事業会計決算

反対 玉田 晶久 議員

全体供給量の約15％で高い県企業庁から水道水を購入している。県水と町単独の水道水で1㎥当たり約40円の違いがあり、県からの購入511,000㎥では約2,000万円以上の無駄遣いとなっており、賛成しかねる。

賛成 玉田 正典 議員

経営指標の示す通り経営収支比率も100％を超え経営も安定している。
また、将来の給水人口の減少も見越し水源の一本化や水質保全のための機器の設置等、適切に事業執行がなされていることから賛成とします。

令和7年度下水道事業会計決算

反対 玉田 晶久 議員

皮革前処理場の収入が約400万円に対して、支出は5,000万円を超えており、収入に対して約12倍の支出は異常としか思えない。各事業者自身が前処理をして下水道に流すような方向で協議を進めるよう求める。

賛成 玉田 正典 議員

皮革前処理場のあり方について、最大限に合理化する運営方針で進めている点を評価する。現在、老朽化している施設の運営について確実な計画を示すことが求められる。全体として健全な事業執行をしているところから賛成とします。

過去を検証し、未来へつなぐ

審査結果をチェック！



委員会審査報告書

令和７年度一般会計決算委員会　審査意見（全文）

全般について

保健福祉会館や文化会館、歴史資料館における大規模改修や陸上競技場の整備などの大型事業を遂行する中で、財政調整基金からの繰り入れを行うことなく、実質単年度収支を黒字に維持できていることを評価する。

今後においても、老朽化に伴う公共施設の更新やインフラ整備など経費の増加が見込まれることから、社会状況の変化や住民ニーズを的確に捉え、引き続き計画的かつ堅実な財政運営に努められたい。

歳入について

町税については、定額減税制度の規模縮小や企業業績及び個人所得の回復、滞納整理の強化などにより増加している。しかしながら、収納率は96.1％であることから、税負担の公平性及び自主財源の確保の観点から滞納防止策の更なる強化が求められる。

また、各種交付金や補助金を有効活用するとともに、交付税措置のある有利な起債による財源確保に努められたい。あわせて、クラウドファンディング手法の積極的な活用や所属横断的な連携によるふるさと納税返礼品の開発、充実を通じて、町内企業の活性化及び町の魅力発信を推進し、ふるさと応援寄付金の増額を図るなど、歳入の確保に努めること。

歳出について

自治体情報システム標準化等により整備されたDX環境と生成AIを十分に活用し、業務の効率化、高度化を図るとともに、住民サービスの向上につなげられたい。また、自治体AXの研究を進め、あらゆる分野での活用と人材の育成及び確保に取り組むこと。

1．公共施設の修繕に関しては、予防保全の観点に立った現場確認を強化し、施設利用者の安心、安全の確保に努めること。
2．地域社会におけるセーフティネットを構築し、様々な課題を抱える方に対する重層的支援を強化すること。
3．小中学校における新しい端末の導入を契機として、ICTを活用した個別最適な学びや授業づくりができる環境を整備し、子どもたちの確かな学力の育成と魅力ある教育の推進に努めること。



ぼうじい解説　ことばの意味

交付税措置のある起債＝返済の一部を国の交付税でまかなえる借入れ　自治体AX＝AIで役場の仕事やサービスを変えること
予防保全＝壊れる前に点検して直すこと　重層的支援＝複数の困りごとを丸ごと支えること

監査委員からの審査意見

① 町税	滞納分の財産調査を徹底し、新たな滞納も防いで、収納率アップを
② 使用料・手数料	かかる費用と利用者の負担のバランスを考えて、料金の見直しの検討を
③ 国保・介護・後期高齢者医療	特定健診の受診率を上げて医療費をおさえ、保険料の収納率アップも
④ 水道事業	使う人が減る中、料金が適正かを検討し、古い施設は計画的に更新を
⑤ 下水道事業	老朽化・浸水対策で費用が増えるのに備え、値上げも含めた検討を



水害対策の強化を

山本（やまもと） 順久（よりひさ） 議員

問 近年、台風や集中豪雨による水害が全国的に頻発しており、本町においても浸水被害や河川氾濫の危険性が高まっている。住民の生命と財産を守るためには、更なる水害対策の強化が必要であると考えるが、浸水のおそれのある地域における対策や計画はあるのか。

答 浸水被害のリスクを踏まえ、浸水のおそれのある地域に対しハード、ソフトの両面から水害対策を進めている。

ハード面としては、雨水を速やかに排水するため雨水幹線の整備を進めてきた。雨水1.4号幹線の整備については、令和６年度から令和７年度までの２カ年で、全長146メートルの雨水幹線を整備したところである。

ソフト面としては、令和７年度に時間雨量130ミリを条件とした内水浸水想定区域図を作成し、浸水リスクの把握に努めている。この区域図は、浸水のおそれのある区域を把握するとともに、今後の雨水対策を検討する上での基礎資料となる。

今後は、これを活用し、浸水リスクの高い地域や既存の雨水排水施設の整備状況等を整理した上で、雨水幹線や貯留施設等の整備について、優先順位を見極めながら計画的に取り組んでいく必要があると考えている。



整備された雨水1.4号幹線



大地震発生時の水の確保はどうする

中薮（なかやぶ） 清志（きよし） 議員

問 西播磨水道企業団や県水の確保率を上げておくべきでは。また、海水などをろ過して純水にする装置を研究している町内企業があるが連携は。

答 老原浄水場と県水による複数水源体制を確保している。企業とは防災協定なども含め連携できればと考えている。



問 以前提案した感震ブレーカーの重要性が増している。普及へ向けて設置補助は。

答 設置補助の時期は明言できないが認識をもって研究している。

兵庫県の財政悪化の影響は

問 今後、県の動向にどのように注視するのか。

答 県が開催する持続可能な財政運営検討会の内容や、市町向け説明会の情報提供を通じ財政運営状況の把握をする。県の補助金や県負担金の制度見直しは特に注視し、町の事業への影響が想定される場合には速やかに対応策を講じたい。



外国人の増加、今から実態把握と備えを

首藤（しゅとう） 佳隆（よしたか） 議員

問 現在、外国人住民は454人（Ｒ８年６月末）、総人口の約1.37％で、比率はまだ高くないが近年増加し続けている。外国人が増えることを問題視するのではなく、まだ少ない今だからこそ、国籍や在留資格、自治会加入状況などを把握し、今後起こり得る行政課題に備えるべきではないか。

答 国籍や在留資格等は住民基本台帳で把握できるが、自治会加入状況までは分からない。生活習慣などの違いにより、課題が生じれば、国籍を問わず一町民として対応し必要な支援を行いつつ必要な政策を検討する。

「電車のまち太子」をアピールすべき

問 町には全国有数の網干総合車両所があり、鉄道ファン向けだけでなく、様々な効果を生み出せる有効資源であるからこそ、「電車のまち太子」をもっと打ち出し、JR西日本との連携で、見学・体験事業、鉄道を活かした返礼品づくりなどを進めてはどうか。

答 網干総合車両所は、他自治体にはない大きな可能性を持つ地域資源であり、学習・体験、交流人口拡大、地域経済活性化にもつながるものと認識している。現在、県立大学と連携し、電車関連のふるさと納税返礼品の開発検討をはじめ、町にとってプラスになる事業には、優先順位を考えつつ必要な財源をつけていく。



夕闇迫る網干総合車両所

一般質問

一般質問とは、議員が行財政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告を求めたりすることをいいます。

太子町では、一般質問をする議員はその要旨（内容）を事前に町長に通告することになっています。
※通告の締切は、一般質問の日の約1週間前です。

通告内容（タイトル）は事前に町ホームページに掲載していますので、傍聴にお越しの前に質問内容をご確認いただけます。

定例会の日程

一般質問要旨





あの日 あの時 あの質問 どうなった 以前の あの答弁



以前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡！

217号　令和8年1月26日発行より

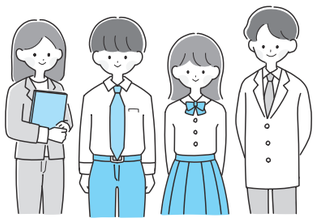
質疑　18歳以下の医療費の完全無償化を

答弁　厳しい財政状況だが、予算編成の中で優先順位を決めて検討していきたい

その後

令和８年７月から完全無償化

高校１年生から３年生までの世代を対象に所得制限を設けない通院費助成が実施され、これにより０歳から高校生世代までを対象とした医療費の完全無償化が実現しました。



発信！太子町議会　地方自治の未来に向けて

第40回自治体学会 横浜大会

自治体学会の全国大会が８月21日から３日間の日程で開催され、２日目に行われた分科会では出原賢治（いでばらけんじ）議員がパネリストとして登壇、太子町議会の取組みを紹介しました。

自治体学会は、地方自治の現状とあるべき姿について共に考え語り合う場として40年の歴史があります。今回の大会には、全国の自治体職員、地方議会議員、官公庁や大学の研究者など約300人の専門家が参集し、５つの研究発表、８つの分科会、ポスターセッションなどが行われました。主な話題は、人口減少下における政策や人材確保、住民参画、都市部一極集中の問題など。



「議会基本条例制定20年の歩みとこれからの地方議会」をテーマとした分科会には約50人が参加。

各パネリストからの報告の後、基本条例がどのように議会を活性化してきたのか、現在の問題、住民参加と個性豊かな自治の実現に向けて議会はどうあるべきかなど、活発な議論が続きました。

パネリスト：高沖（たかおき） 秀宣（ひでのぶ）（自治体議会研究所代表）
前泊（まえどまり） 美紀（みき）（那覇市議会議員）
出原（いでばら） 賢治（けんじ）（太子町議会議員）
コーディネーター：牧瀬（まきせ） 稔（みのる）（関東学院大学法学部教授）



災害時のトイレパニック対策

桑名（くわな） 幸夫（ゆきお） 議員

問　災害時に断水等によってトイレが使用できず、不衛生な状態になることをトイレパニックと言うが、トイレパニックについてどのように認識されているか。

答　避難所において強化すべき分野として、し尿処理、災害トイレ運用というのは非常に大切な分野であると認識している。

問　人道憲章と人道対応に関する国際的な最低基準（スフィア基準）では、発災直後の仮設トイレの必要数を50人に１基と定められているが、これについてはどうか。

答　スフィア基準については承知している。近年は、待ち時間が発生しないだけのトイレを確保する考え方に変わってきていると認識している。

問　トイレパニックが起こらないように、必要な仮設トイレの備蓄と維持管理を考えていただきたいが、いかがか。

答　国の動向等を注視しながら研究し、対応していきたい。



防災訓練で設置した仮設トイレ



ドローンを活用しよう

中島（なかしま） 貞次（ていじ） 議員

問　ドローンは、人が近づけない危険な場所や高い場所にアクセスすることができるため、空撮や災害調査、インフラ点検、農業など幅広い分野での活用が見込まれる。太子町でドローンを導入する考えはあるのか。

答　ドローンは、災害時の被害状況の把握や人が立ち入りにくい場所の確認、インフラ点検、農業、空撮による記録作成など、多様な範囲で活用が進んでおり、その有効性については十分認識している。

太子町としては保有していないが、防災分野では西はりま消防本部に１機を配備している。また民間事業者（ALSOK）との災害時応援協定に基づき、有事の際にはドローンを活用した被害状況の情報収集等の支援を受けることができる体制を整えている。

問　ドローンを操縦する技術者の養成は考えていないのか。

答　安全かつ有効に活用するためには、操縦技術や関係法令に関する知識を有する人材の確保が重要であると考えている。しかし、現時点では町独自にドローンを導入する計画がないので人材養成を行う段階ではない。



常任委員会レポート

７月～９月

視察先が決定

各常任委員会ではそれぞれの課題調査について調査研究し、先進事例を学ぶために視察先の検討を進めてきました。

総務経済建設常任委員会

課題調査
「観光行政のあり方」

視察先
静岡県長泉町　11月５日
神奈川県寒川町　11月６日
長泉町では、「地域資源を活用した観光振興及び交流人口拡大の取組について」を
寒川町では、「観光協会設立の経緯及び行政との役割分担について」を視察目的として意見交換する予定です。

福祉文教常任委員会

課題調査
「GIGAスクール構想の検証と今後の展望について」

視察先
大分県玖珠町　10月６日
福岡県苅田町　10月７日
玖珠町では、くす星翔中学校、苅田町では与原小学校においてICT機器を活用した授業を視察し、意見交換をする予定です。

広報広聴委員会

議会広報研究会に参加

7/29

議会広報アドバイザーの矢嶋洋美氏の講義を受けてきました。議会は住民の皆様にとって「ヒトゴト」になりやすいからこそ、編集の工夫によって「ジブンゴト」として感じてもらうことが大切だと学びました。

審議結果や議論の流れを伝えるだけでなく、議会の思いや熱意もあわせて届けることで、議会をもっと身近に感じてもらえるというお話が印象的でした。

議会だよりは、住民の皆様のお手元に届く大切な広報媒体です。だからこそ、思わず手に取りたくなる見出しや、暮らしとのつながりが伝わる内容など、読みたくなる工夫を重ねていくことの大切さを改めて感じました。



あなたの「声」をお聴かせください

議会だよりを読んだ感想などを議会事務局までお寄せください。分かりやすく親しみやすい紙面づくりを心がけていきます。

広報広聴委員会
編集
委員長　吉田　智子
副委員長　山本　順久
委員　松浦　崇志
出原　賢治
桑名　幸夫
玉田　晶久

議会傍聴にお越しください

12月定例会のお知らせ

１１月３０日(月)	提案説明
１２月　１日(火)	一般質問
１２月　２日(水)	一般質問
１２月　４日(金)	議案質疑
１２月１８日(金)	討論・採決

※都合により変更になる場合があります。



太子町
マスコットキャラクター
ぼうじぃ

編集後記

太子町防災フェスティバルで耳にしたシーモさんの歌詞に感動!!
「負けたら終わりじゃなくて　やめたら終わりなんだよね　どんな夢でもかなえる魔法　それは続けること」
さて、裏表紙で紹介した『カフェトークたいし』においては、議会と住民がまちのこれからについて夢を語り合いました。
参加された方たちの夢を実現できるよう「どんな夢でもかなえる魔法　それは続けること」を胸に刻み頑張っていきたい。
（桑名　幸夫　記）

災害発生　議会はどうする？

和のまちをつくる太子町議会基本条例 第12条第２項

議会は、災害等の発生に備え太子町議会業務継続計画（BCP）を策定します。

災害時などに行うべき議会・議員の役割や行動方針を定めました。

議会ＢＣＰの対象となる災害

太子町地域防災計画に基づく太子町災害対策本部の設置に連動して議会ＢＣＰを発動する

地震
震度５弱以上



風水害
暴風警報
レベル４大雨危険警報
レベル４氾濫危険警報
レベル４土砂災害危険警報



その他
新型インフルエンザなどの感染症
町長が必要と認める場合
大規模な被害が発生し、
又はそのおそれがあるもの



議会・議員の基本的行動形態

震度５強

一か月の行動原則

初動期(発生～３日)
○傍聴者などの安全確保
○議員の安否確認・情報収集
○議会災害対策会議を設置
議員は、議会災害対策会議からの参集指示があるまでは、地域の救援活動などに参加する

中期(４日～７日)
○災害情報の収集・掌握・共有
議員は、議会災害対策会議からの参集指示があれば速やかに参集し、議員活動に従事する
執行機関の災害対応を阻害することがないよう、議員は原則として、町災害対策本部への直接要請・紹介・情報提供を行わない

後期(８日～１ヶ月)
○議会機能の早期復旧
本会議・委員会を開催し、復旧・復興予算などを審議

１ヶ月～
○平常時の議会組織体制へ
復興計画などについて議会として審議

ようこそ、太子町議会へ
～議会を視察に来られました～

太子町議会の取組みに対し、全国の議会から視察の申し込みが続いています。
私たちの活動を振り返り、一層の充実を図る機会にもなっています。

７月８日　神奈川県大井町議会（全議員）
議員のなり手不足対策
（カフェトーク、主権者教育、広報）
ICT機器の活用

８月20日　神奈川県湯河原町議会 議会運営委員会
議会基本条例の制定と運用
（主権者教育、報酬・定数、議長への手紙）

７月10日　福井県高浜町議会 議会運営委員会
議会基本条例
（運用実態、議員間協議、住民参加）
政治倫理条例

他にも、静岡県清水町議会（7/3）、栃木県芳賀町議会（7/22）の方が、町行政の視察を目的に来られました。

第5回カフェトークたいし



トークテーマ

太子町のファンを増やそう!!

議会と住民の意見交換会を開催し、４ラウンドのワールドカフェ形式でまちのこれからを語り合いました。

- 1 Round 太子町の魅力を再発見しよう
- 2 Round その魅力をだれに伝えたいですか？
- 3 Round こうなったらいいのに、こんなところが不満
- 4 Round あなたなら何をしますか？



参加された14人の住民と、テーブルに分かれてトーク。
時間が足りないほどに話は尽きませんでした。
（9月12日、太子町議会棟にて）



ともに、歩む。
太子町議会

太子町議会だより　No.220
発行日　令和８年10月26日

発行　兵庫県太子町議会
〒671-1592 兵庫県揖保郡太子町鵤280番地1
TEL：079-277-5995　FAX：079-277-2202
HP　https://www.town.hyogo-taishi.lg.jp/

UD FONT